

だれが、その力ある雷を
聞き分けようか。

- 26:1 ヨブは答えて言った。
26:2 あなたは無力な者を
どのようにして助けたのか。
力のない腕をどのようにして救ったのか。
26:3 知恵のない者をどのようにしていさめ、
豊かなすぐれた知性を示したのか。
26:4 あなたはだれに対して
ことばを告げているのか。
だれの息があなたから出たのか。
- 26:5 死者の霊は、
水とそこに住むものとの下にあって
震える。
26:6 よみも神の前では裸であり、
滅びの淵もおおわれぬ。
26:7 神は北を虚空に張り、
地を何も無い上に掛けられる。
26:8 神は水を濃い雲の中に包まれるが、
その下の雲は裂けぬ。
26:9 神は御座の面をおおい、
その上に雲を広げ、
26:10 水の面に円を描いて、
光とやみとの境とされた。
26:11 神がしかると、
天の柱は震い、恐れる。
26:12 神は御力によって海をかき立て、
神の英知をもってラハブを打ち砕く。
26:13 その息によって天は晴れ渡り、
御手は逃げる蛇を刺し通す。
26:14 見よ。これらはただ
神の道の外側にすぎない。
私たちはただ、
神についてのささやきしか聞いていない。

ヨブはビルダデに対して、結局誰をも助けては
いないのではないかと反論します。彼は友人たちと
の議論の中で、絶望し、神に訴え、答えられず、
苦しみ、しかし神に希望を見出そうとする…と
いったことを繰り返しながら、少しずつ神様の御
心に近づいているようでもあります。

「私たちはただ、神についてのささやきしか聞
いていない。だれが、その力ある雷を聞き分けえ
ようか。」とは、まさに「なぜ、なぜ」と問うて
きた自分に対する答えを、無自覚に述べているよ
うです。」

友人たちも同じことを言いましたがヨブの心に
響かないのは、彼らが御心をヨブに適用するのみ
で、自分のこととして受け止めていなかったから
です。

ルカにあるように「6:41 あなたは、兄弟の目
にあるちりが見えながら、どうして自分の目にある
梁には気がつかないのですか。」のことばを思い
ながら、自分が方向転換（悔い改め）し、成長す
ることを第一としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

